
金沢市ホームページ ユニバーサルデザイン指針

Ver.1

平成 17 年 2 月

金沢市市民生活部広報広聴課

目 次

1 . はじめに	1
2 . 構成	1
3 . 優先度	1
4 . 進め方	1
5 . 金沢市ホームページユニバーサルデザイン指針	2
1) ユーザビリティ編	2
優先度：高	2
優先度：中	7
2) アクセシビリティ編	11
優先度：高	11
優先度：中	17
付録	20
・ 用語集	20
・ 参考文献	23

1．はじめに

金沢市は、平成7年9月より、ホームページ「いいねっと金沢」を開設し、広く内外に向けて情報発信を行っています。

この「金沢市ホームページユニバーサルデザイン指針」は、誰にでもわかりやすい情報提供により、必要な情報を誰もが自由に入手できることを目的に、ホームページを設計、作成する際の考え方をまとめました。

2．構成

ユーザビリティ編とアクセシビリティ編の二部構成になっています。

ユーザビリティ編・・・使いやすいホームページのための考え方

- ・見やすいデザイン設計のために
- ・操作性の向上への配慮
- ・わかりやすい情報提供の工夫
- ・ストレスなく利用できるために

アクセシビリティ編・・・障害のある方や高齢者などより多くの利用者に向けての考え方

- ・読み上げソフトなどを使用した利用を考慮
- ・視覚障害、色覚障害のある方への配慮
- ・利用者の利用環境への配慮

「 」は付録の用語集（20頁～）に説明が付いている用語です

3．優先度

高・中の2段階の優先度を定めています。優先度の意味は、

高：必ず満たす必要がある項目

（項目を満たさなければ、公開することはできません）

中：可能な限り考慮すべき項目

（できるだけ満たす必要がある項目です）

4．進め方

新規にホームページを作成または大規模な改訂の際には、本指針の考え方に基づいて作成します。

5 . 金沢市ホームページユニバーサルデザイン指針

1) ユーザビリティ編

優先度：高（必ず満たす必要がある項目）

1 . 1 ページに表示するデータ量はできるだけ小さくすること。（優先度：高）

[理由]

低速回線、低性能パソコン環境では、1 ページの表示に時間がかかる。

[対応方法]

データ量はできるだけ小さくする。画像ファイルを含めた1 ページあたりのデータ量は100KB 以内を基準とする。

2 . 大きな画像を表示する場合はサムネイル を活用すること。（優先度：高）

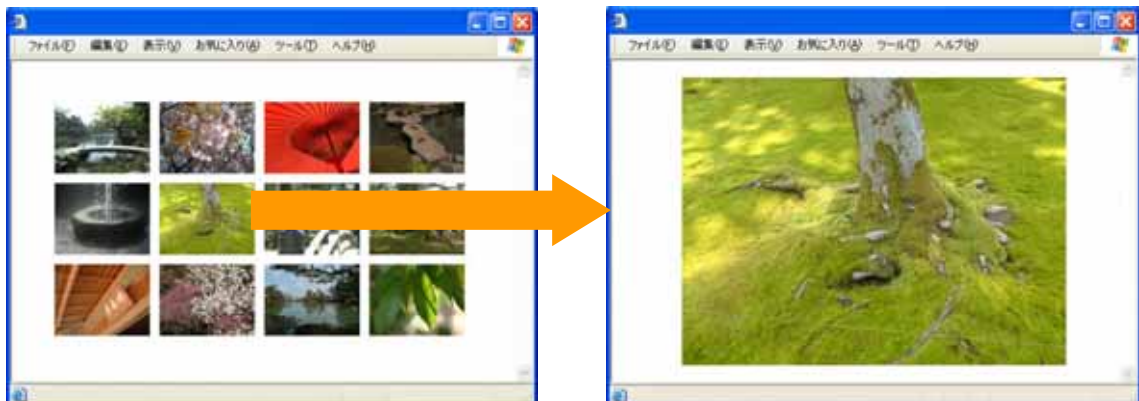
[理由]

低速回線、低性能パソコン環境では、1 ページの表示に時間がかかる。サムネイルがあれば、大きな画像を開く前にイメージをつかむことができる。

[対応方法]

データ量の大きな画像を表示する場合、サムネイルを使用する。HTML 上で小さくしても、実際の画像は大きいままなので、表示時間は変わらない。サムネイルを利用する場合は、サムネイルに合わせたサイズの画像を準備する。

[例]



3 .Flash や動画を利用する場合は、途中で処理を取り消せる機能を提供すること。(優先度：高)

[理由]

Flash や動画が終了しなければ次に進めないのは不親切である。

[対応方法]

Flash や動画にはキャンセルやスキップができる仕組みとボタンを準備する。

[例]



4 .PDF や圧縮ファイルなどをダウンロードさせる場合は、ファイルの形式とサイズを明記すること。(優先度：高)

[理由]

自分の環境に応じたデータを選んでダウンロードできる。

[対応方法]

PDF、圧縮ファイル、動画、アプリケーションファイルなどをダウンロードさせる場合は、ファイル形式とサイズを表示する。

[例]

[・金沢市広報\(PDF\)\(800KB\)](#)

5 . 不必要に装飾用の画像を使わないこと。(優先度：高)

[理由]

画像データは表示に時間がかかり、文字が読みにくくなる。

背景の画像は不必要

[対応方法]

不必要な装飾画像は用いない。

[例]



6 . 同じ情報はどのページでも同じ位置に表示すること。(優先度：高)

[理由]

操作性が統一されていると分かりやすい。

[対応方法]

ロゴやナビゲーションなど、各ページに共通する内容はどのページでも同じ位置に表示する。

[例]

同じ情報は同じ位置に表示する。



7 . 画面（ページ）の横方向は1画面に収まる設計にすること。(優先度：高)

[理由]

横方向のスクロールは一覧性に欠ける。またプリントアウトしたときに右側が切れてしまう。

[対応方法]

ページの幅は 750 ピクセル 以下で作成するのが望ましい(800 ピクセルの解像度のディ

スプレイで横スクロールしないサイズ)。

A4 縦の用紙に印刷するには、一般的に 640 ピクセル以内のサイズが適当。

(OS やブラウザ などの種類・設定により異なる)

[例]



8 . ブラウザ 以外のソフトへのリンクは HTML のリンクと区別すること。

(優先度 : 高)

[理由]

ブラウザ以外のソフトが急にたちあがると不親切である。

[対応方法]

別のソフトがたちあがる場合は、その旨、明示する。

[例]

[良い例]

[質問\(メール\)](#)

[質問](#) (メールソフトが起動します)

[悪い例]

[質問](#)

別のページが開くように見える。

9 . 各ページに、前のページやトップページに戻る機能を提供すること。

(優先度 : 高)

[理由]

前ページに戻るときに、ブラウザ の戻るボタンを使用しなければならず、操作性が低下する。

[対応方法]

トップページへのリンクを各ページに提供する。タイトルロゴにトップページのリンクがあることが多いので、タイトルロゴにトップページのリンクをつけておくとよい。

また、前のページへ戻るリンクや、パンくずリストを使うと、より分かりやすい。

[例]



優先度：中（可能な限り考慮すべき項目）

10．Flash など表示に時間がかかる場合は進捗状況を示すこと。（優先度：中）

[理由]

進捗状況が分からず停止しているように錯覚する。

[対応方法]

Flash や Shockwave など、ダウンロードに時間がかかるものは、「ローディング中」の表示などで進捗状況を表す。

11．バランスの取れた階層にすること。（優先度：中）

[理由]

複雑な階層は情報が探しにくい。

[対応方法]

ホームページ全体を通して深さと広さのバランスをとる。

12．アイコン は適切に用いること。（優先度：中）

[理由]

アイコンが示す内容を適切に表現していないと誤解を招く。

[対応方法]

アイコンは内容を適切に表現したものを用いる。一般的に用いられているデザインを踏襲することで利用者は早く理解できるようになる。

13．1 ページが長すぎないようにすること。（優先度：中）

[理由]

長いページは情報を探すのに時間がかかる。文字を拡大して表示している場合やマウスを利用しない場合はスクロール操作が困難である。

[対応方法]

ページの長さは表示サイズの2倍程度までを基準とする。それ以上に長くなる場合は、ページ内リンクやページの先頭へ戻るためのリンクを設置する。

14．各サイトのトップページでホームページの趣旨を明示すること。（優先度：中）

[理由]

検索サイトなどで途中のページから訪問した利用者がサイトの内容を理解できない。

[対応方法]

「ここは のホームページです。」というようにトップページでサイトの趣旨を明示する。

15．同じ情報は、同じ表現をすること。(優先度：中)

[理由]

「戻る」と「Back」のように、同じ情報に複数の表現を使用すると、利用者が混乱する。

[対応方法]

同じ情報はホームページ全体を通じて同じ表現で統一する。

16．情報の優先順位をデザインに反映させること。(優先度：中)

[理由]

重要度や手順など情報の優先順位がデザインに反映されていないと理解に時間がかかる。

[対応方法]

情報の優先順位を色や大きさ、スタイルなどに反映させる。

17．奇抜な配色や、余りに多い配色をしないこと。(優先度：中)

[理由]

意味もなく奇抜な配色をしたり、リンクのない文章に多くの色を使ったりすると理解しづらい。

[対応方法]

見やすい配色を心がける。1ページで使う色数は5色程度が理想と言われている。

18．文章は明瞭で簡潔にすること。(優先度：中)

[理由]

長すぎる文章は理解しづらい。

[対応方法]

ホームページの内容に合わせ、明瞭で簡潔な文章にする。段落ごとに行を空けたり、箇条書きにするなど工夫をする。

19．外来語、横文字、カタカナ文字、専門用語、略語を多用しないこと。
(優先度：中)

[理由]

全ての人にとって理解できる表現にする。

[対応方法]

不必要に外来語、横文字、カタカナ文字、専門用語、略語などを使用しない。使用する場合は用語の解説などを提供する。

20．クリックできる部分は判断できるようにすること。(優先度：中)

[理由]

どこがクリックできるのか判断できないと、操作に時間がかかる。

[対応方法]

リンクであることが判断できるように、ボタンは押しやすいデザイン、テキストリンクには必ず下線が付くようにする。

21．リンク切れのページをなくすこと。(優先度：中)

[理由]

ブラウザの戻るボタンを使用しないと前のページへ戻れない。また、サイトの信頼感を落とす。

[対応方法]

リンク切れのページがないように確認する。市販のホームページ作成ソフトを利用すると、簡単にリンク切れを確認することができる。

22．作成中のページへリンクさせないこと。(優先度：中)

[理由]

利用者に不必要な操作負担をかける。

[対応方法]

作成中のページがある場合は、リンクする前のページで作成中であることを明確にし、作成中のページへはリンクさせない。

23．アドレスを変更した場合は新しいアドレスに誘導すること。(優先度：中)

[理由]

お気に入り（ブックマーク）登録など、以前のアドレスの利用者が迷ってしまう。

[対応方法]

変更前のアドレスに、移動した旨と、移動後のアドレスを一定期間記述しておく。

2) アクセシビリティ編

優先度：高（必ず満たす必要がある項目）

1. 画像（Jpeg、gif など）には適切な代替テキストをつけること。（優先度：高）

[理由]

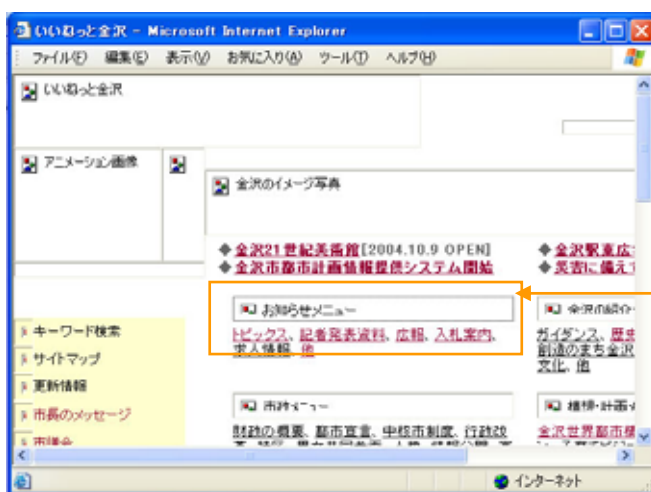
読み上げソフト を用いている視覚に障害のある方や、画像を表示しないブラウザ を用いている利用者は情報を受け取ることができない。

[対応方法]

画像には alt 属性 を指定し、代替テキスト（画像と同等の役割を果たすテキスト）を提供する。画像を読み上げて欲しくない場合は、alt 属性に半角スペースを入れる。

[例]





画像を表示しない場合も
alt 属性が表示される。
読み上げソフトでは alt 属
性が読み上げられる。

2. 色のついた背景の上に文字を重ねる場合、前景色と背景色に十分なコントラスト（色の明るさの差）を与えること。（優先度：高）

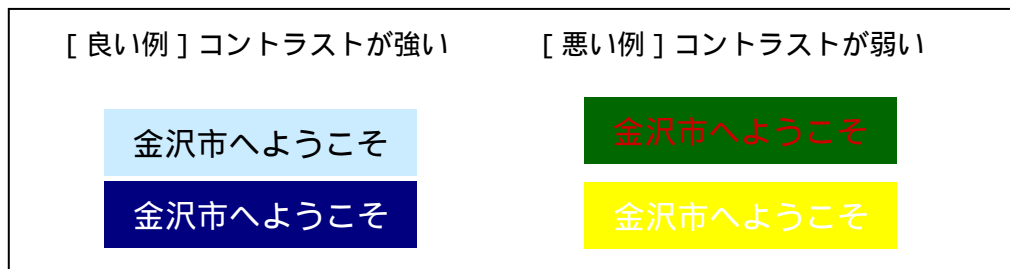
[理由]

前景色と背景色でコントラストが少ないと色覚に障害のある方が内容を認識できない。

[対応方法]

文字色と背景色、文字色と背景画像の色などに同系色を使わず、十分なコントラストをつける。特に緑と赤、白と黄色など、区別のつきにくい配色をしない。

[例]



3. 文字のサイズを指定する場合は相対値で指定すること。（優先度：高）

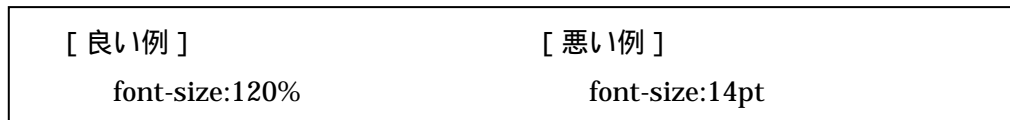
[理由]

ブラウザ で大きさが変更できないため。

[対応方法]

スタイルシートで文字サイズを指定する場合は、「pt」、「cm」などの絶対的な単位ではなく、「em」「%」などの相対的な単位で行う。

[例]



4. レイアウトテーブル は、読み上げソフト で適切に読まれるようにセルを配置すること。（優先度：高）

[理由]

読み上げソフトの利用者が正しく情報を受け取ることができない。

[対応方法]

読み上げソフトで読まれる順番を考慮したレイアウトテーブルを作成する。読み上げソフトは通常、左上のセルを始点に左から右に HTML で記述されている順番に読み上げる。

[例][悪い例] 情報の方向と読み上げの方向が一致していない。

梅	桜	あじさい	コスモス
			
3月が見ごろ	4月が見ごろ	6月が見ごろ	9月が見ごろ

情報の方向
↓

読み上げの方向
→

5. フレーム はできるだけ使用を控えること。(優先度：高)

[理由]

読み上げソフトの利用者は、フレームを使ったページの内容を一度に把握することができない。またフレームを使用できない環境にある利用者に正しい情報が伝わらない。

[対応方法]

フレームの使用は必要最低限にする。フレームを使用する場合は、<title>タグで各フレームの役割を記述する。また、<noframes>タグに各フレームに表示される内容などを記入し、フレームがサポートされていない利用者でも利用できるようにする。

[例]



上記のページの場合、2つのフレームをあわせてページを作成している。読み上げソフトの利用者は2つのページを閲覧しないと情報が理解できない。

<noframes>タグの挟んだテキストはフレームに対応できない場合に表示される。

```
<frameset cols="496,496">
  <frame src="menu.html">
  <frame src="main.html">
</frameset>
<noframes>
このホームページはフレームを使用しています。フレームがサポートされていない場合はサイトマップをご覧ください。
</noframes>
```

6 . ページや文字を明滅させたり、画像や文字をすばやく動かさないこと。

(優先度：高)

[理由]

障害のある方や高齢者の中には、ページの中ですばやく動く文字や画像の明滅などを認識できない人がいる。また、一部の読み上げソフト では動く文字は読み上げられない。刺激の強すぎる表現は、光過敏性てんかんのある人の発作を引き起こす原因になる。

[対応方法]

文字を明滅させる <blink> タグ や、文字をスクロールさせる <marquee> タグは使わない。激しく明滅する Flash やアニメーション GIF を用いる場合も利用者に強い刺激を与えるような表現は避ける。

7 . 特定の技術やプラグイン (JavaScript ・ Java アプレット ・ Flash ・ PDF など) を使用する場合は、代替手段・代替情報を提供すること。(優先度：高)

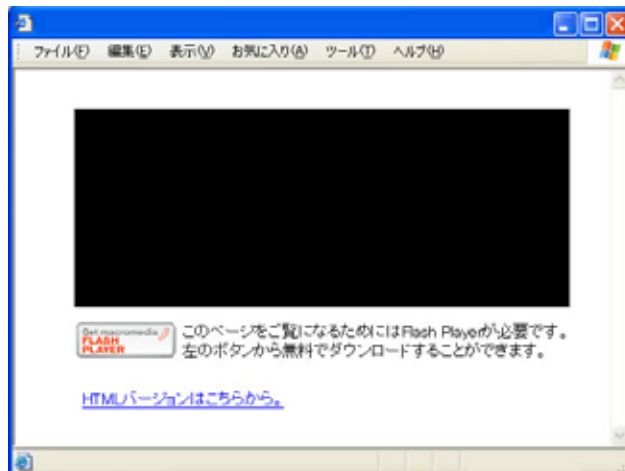
[理由]

特定の技術やプラグインをサポートしていない環境では情報を得ることができない。

[対応方法]

特定のプラグインを用いる場合は、そのプラグインの最新版を得られるホームページへのリンクを提供する。メニューなどの重要な情報に用いる場合は、テキストリンクなど代替手段を提供する。

[例]



8 . ページには適切なタイトルをつけること。(優先度：高)


[理由]

ページに適切なタイトルがないと、読み上げソフト を利用している利用者は、自分が何のページを見ているのか把握できない。

[対応方法]

< title > タグ に適切な名前を記入する。

[例]



<title>いいねっと金沢</title>

ホームページ全体を通してタイトルの表記方法を決めると統一感が出て、検索サイトからの訪問者にも分かりやすい。

例えば、
いいねっと金沢 - トピックス
いいねっと金沢 - 記者発表資料

9 . 単語の途中に空白や改行を入れないこと。(優先度：高)

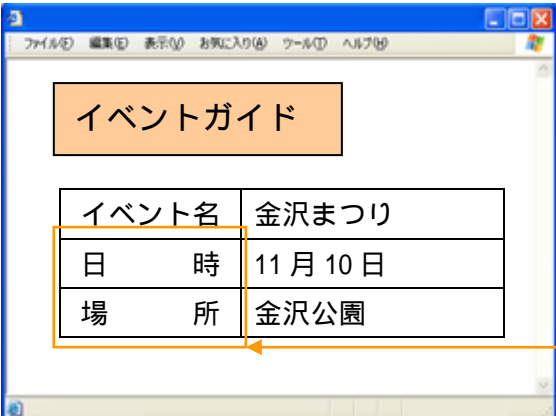
[理由]

読み上げソフト が間違っ て読み上げるため、利用者の理解を妨げる。

[対応方法]

体裁を整える目的で単語内にスペースや改行を入れない。

[例]



イベント名		金沢まつり
日	時	11月10日
場	所	金沢公園

読み上げソフトでは、「にちじ」ではなく「ひ」「とき」、「ばしょ」ではなく「ば」「ところ」と読まれてしまう。

10 . 機種依存文字 を使用しないこと。(優先度：高)

[理由]

他の環境の利用者に正確に情報が伝わらない。

[対応方法]

機種依存文字は使用せず、全ての環境で表示される文字に置き換えるか、画像で表現する。半角カタカナは使用しない。

Windows の場合は、JIS コードの 2D21 ~ 2D7C、7425 以降が機種依存文字である。

[例]

Windows の は、Macintosh では (日) と解釈される。
(1) 1 . に
(株) 株式会社 に
TEL、電話に

[Windows での機種依存文字の例]

① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯
⑰ ⑱ ⑲ ⑳ I II III IV V VI VII VIII IX X ・ ミリ
キロ セン メー グラ トン アー ヘル リッ ワッ カロ ドル セン ペー ミリ ゴー mm
cm km mg kg cc m² ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ 平城
” “ No. K.K. TEL ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

11 .読み上げソフト 等を使用した際にテキストや alt 属性 が正しく読み上げるようにすること。(優先度：高)

[理由]

読み上げソフト等を使用した際に、固有名詞等のテキストを正しく読み上げない。

[対応方法]

公開前に読み上げソフトを利用して正しく読み上げられるか確認し、問題がある場合は、修正する。

固有名詞等がある場合はルビの追加等の対応を行う。

[例] ルビの付け方

主計町 にルビを付ける。

<RUBY><RB>主計町</RB><RT>かずえまち</RT></RUBY> と記述すると

かずえまち
主計町 と読み方が上に付く。

読み方を非表示にするには、

<RUBY><RB>主計町</RB><RT style="display:none">かずえまち</RT></RUBY> と記述する。(読み上げソフトはルビを読み上げる)

優先度：中（可能な限り考慮すべき項目）

12．動画を使用する場合は字幕かテキストによる説明を付加すること。

（優先度：中）

[理由]

視覚に障害のある方は音声のない動画を利用することができない。また、聴覚に障害のある方は動画の音声を把握できない。

[対応方法]

動画には内容を説明する字幕か代替テキストを付加する。代替テキストは、動画中のセリフを文字にしたものだけでなく、動作や周囲の状況も加える。

13．イメージマップを使用する場合は各リンク部分にも代替テキストをつけること。（優先度：中）

[理由]

読み上げソフトを用いている視覚に障害のある方や、画像を表示しないブラウザを用いている利用者は情報を受け取ることができない。また、古いブラウザの中には各領域に対する代替テキストに対応していないものがある。

[対応方法]

画像全体だけでなく、リンクできる各領域に対しても代替テキストをつける。可能であれば別にテキストによるリンクも用意する。

14．色だけでなく、形や前後関係でも同時に情報を与えること。（優先度：中）

[理由]

色覚に障害のある方やモノクロのディスプレイを使用している人は、色に依存した情報を利用することができない。

[対応方法]

色を用いた情報提供をする場合は、文章や形、前後関係（番号、文脈）などの色以外の説明要素も同時に用いる。

15．lang 属性を用いて使用言語を示すこと。（優先度：中）

[理由]

一部の読み上げソフトや点字装置はホームページの言語（日本語、英語など）を読み取

り、その言語に適した発音や出力を行う。使用言語を示してないと、それらの機器に対応できない。

[対応方法]

lang属性を用いて、基本となる言語を設定する。例えば日本語のページの場合は、`<html lang="ja">` と表示する。

16．表としてテーブル を使う場合、表の構造をタグ で記述すること。

(優先度：中)

[理由]

一部の読み上げソフト の利用者は、情報が表であることや、見出しとデータの違いを把握できない。

[対応方法]

`<caption>` タグで分かりやすい表題をつける。見出しとなるセルには`<th>` タグを用いる。複雑な表には scope 属性・id 属性・headers 属性などのセルの関係を示す属性を用いるとさらに分かりやすくなる。

(scope 属性はそのセルがどちらの方向に対する見出しであることを明示する / id 属性と headers 属性はさらに細かな説明に用いる)

17．ページの自動更新や他ページへの自動的な移動は避けること。(優先度：中)

[理由]

読み上げソフト を利用している利用者や高齢者の理解を妨げる原因となる。

[対応方法]

ページを自動更新するような設計や、他のページに自動的に移動するような設計は行わない。

18．同時に二つ以上のページを開かないこと。(優先度：中)

[理由]

ページを開くと同時に、別のウインドウが開くような設定をすると、読み上げソフト を用いている利用者は、自分がどのページを見ているのか分からなくなる。

[対応方法]

同時に二つ以上のリンクを開く設計にしない。

19．特定の技術やプラグイン（JavaScript・Java アプレット・Flash・PDF など）を使用する場合はアクセシビリティ機能を最大限に活用できるように作成すること。（優先度：中）

[理由]

読み上げソフト など特別の装置を利用している人は情報を受け取れない。

[対応方法]

Flash、PDFなどはアクセシビリティを向上させる技術情報がホームページで公開されているので、それらを参考にする。

20．マウスを使わず、キーボードだけでも操作できるようにすること。

（優先度：中）

[理由]

マウスに依存した操作があると、キーボードだけで操作している利用者が利用できない。

[対応方法]

キーボードの矢印キーでのスクロールを可能にする。ページ内は Tab キーを使いキーボードで移動できるようにする。選択や実行は Enter キーで操作を確定する設計にする。

21．テキストでのリンクが連続する場合は、リンクしないテキストを間に入れること。（優先度：中）

[理由]

一部の読み上げソフトでは、複数のリンクが連続していると、ひとつのリンクとして認識してしまう。

[対応方法]

テキストリンクを並べる場合はスペースや「|」など、間にリンクしていないテキストを入れる。

22．リンクは、リンク先の内容が分かるような表現にすること。（優先度：中）

[理由]

リンク部分のみを読み上げる読み上げソフトでは、リンク先の内容が理解できない。

[対応方法]

「ここ」「こちら」など指示代名詞だけでリンク先を指定しない。リンク先の内容を推測できない表現を避ける。リンクする範囲を広げて操作がしやすいように配慮する。

[用語集]

1 . アイコン

パソコンの画面上で、ファイルやフォルダを開く、印刷する、ページの遷移などが直感的に分かるように、小さな絵で表現したもの。ボタンとして動作するようになっており、マウスやキーボードでクリックすることで操作する。

2 . 圧縮ファイル

決まった手順で圧縮されたファイル（データ）のこと。データを小さくしたり、まとめたりするために使われる。代表的なものに LZH や ZIP といった形式がある。これらの圧縮ファイルは解凍ソフトを使うことで、圧縮前と同じ形に戻す（解凍する）ことができる。

3 . アプリケーションファイル

ワープロや表計算など、特定の目的で利用するソフトウェアによって作成されたファイルのこと。

4 . イメージマップ

ひとつの画像に複数のリンク部分を設定できる技術のこと。または、複数のリンク部分を設定した画像のこと。

5 . HTML [エイチティーエムエル]【Hyper Text Markup Language】

ホームページを作成するための言語。「タグ」と呼ばれるコマンドを使って、文字や画像の大きさ・位置、リンク先などを指定する。Internet Explorer や Netscape Navigator などのブラウザソフトで読み込むと、タグの指定どおりに表示される。

6 . OS [オーエス]【Operating System】

コンピュータの基本的な動作を行うソフトのこと。Windows、UNIX、Mac OS など。

7 . 機種依存文字

特定の OS でしか表示されない文字。外字や丸付数字、ローマ数字などがある。

8 . サムネイル

見本用に画像を小型化して一覧で表示すること。

9 . Jpeg [ジェイペグ] 【Joint Photographic Expert Group】

画像の保存形式のひとつ。元データを 1 / 10 ~ 1 / 100 程度まで圧縮できるが、画像が劣化し、元に戻すことはできない。写真画像の圧縮によく使われる。

10 . gif [ジフ] 【Graphics Interchange Format】

画像の保存形式のひとつ。画像を 256 色で表現する。特定の色を透明化することができ、圧縮による画像の劣化もないため、ボタンやアイコン、イラストなどに利用される。複数の画像を自動的に切り替えてアニメーション化することもできる（アニメーション gif）。

11 . Java アプレット [ジャバアプレット]

Java はサン・マイクロシステムズ社が動画やゲームを動かす技術として開発したプログラム言語。Java アプレットは Java によるプログラム的一种で、インターネットを通じて送信され、Web ブラウザで実行される。

12 . JavaScript [ジャバスクリプト]

ホームページでよく利用される簡易的なプログラム。HTML に直接コードを書き込むだけで、通常の HTML では実現できない簡易な応答機能を加えることができる。例えば、アクセスした日時を表示したり、アトランダムに画像を表示させたりする場合などに利用される。

13 . Shockwave [ショックウェーブ]

マクロメディア社が開発したインタラクティブなコンテンツを作成するための技術。

14 . 属性

データの持つ性質。この指針に出てくる alt 属性、lang 属性などは、HTML タグの中で個別の性質を表現するために使用する。

15 . タグ

HTML の構成要素。画面制御の命令を行う。 < > で囲まれた形で記述する。

16 . テーブル

表のこと。HTML では数値などを表示する一般的な表ばかりではなく、レイアウトを整えるためにもよく使われている。

17. パンくずリスト

ホームページでよく使われる表現のひとつで、「トップページ>お知らせ>最新・・・」といった形で表現し、「>」で挟まれた項目にはリンクが貼られている。サイトの構成がひとめで分かり、それぞれの階層へ簡単に戻ることができるので、ユーザビリティの高い表現方法である。

18. PDF [ピーディーエフ]【Portable Document Format】

アドビシステムズ社が開発した Adobe Acrobat のファイル形式。OS の違いに関係なく表示でき、閲覧ソフトは無料で配布されていることからホームページでも幅広く使用されている。ファイルはアドビシステムズ社の「Acrobat」で作成する。

19. ピクセル

ディスプレイ上の画面を構成する最小単位の点。

20. ブラウザ

データを閲覧するプログラムの総称。Internet Explorer や Netscape Navigator などホームページを閲覧するためのソフトもブラウザのひとつ。

21. プラグイン

ソフトに機能を追加するための補助ファイルのこと。

22. Flash [フラッシュ]

マクロメディア社が開発したマルチメディアを作成するためのソフトウェア。Flash でつくられたデータそのものを指す場合も多い。動画の再生のほか、メニューボタンなどにも幅広く使われている。再生するには Flash Player (無料配布) が必要。

23. フレーム

複数のページをブラウザ内で区切って表示するホームページの表現方法。

24. メールソフト

電子メールの作成や送信・受信を行うソフトウェアのこと。Outlook Express、Becky! Internet Mail、Eudora などがある。

25. 読み上げソフト

ホームページリーダーやスクリーンリーダー等、画面の内容を音声で読み上げてくれるソフトウェアのこと。

[参考文献]

- ・ W3C ウェブ・コンテンツ・アクセシビリティ・ガイドライン 1.0 (W3C, 1999.5)
- ・ 高齢者・障害者等配慮設計指針 - 情報通信における機器, ソフトウェア及びサービス
- 第三部: ウェブコンテンツ JIS X 8341-3:2004
(平成 16 年 6 月 20 日制定 日本工業標準調査会 日本規格協会発行)
- ・ 「みんなが使えるホームページの作り方～ウェブアクセシビリティ 12 のポイント
(平成 15 年 3 月 総務省情報通信政策局情報通信利用促進課)
- ・ 「いしかわ Web デザインガイド～人に優しい情報の提供を目指して～」
(平成 15 年 10 月 石川県企画開発部情報政策課)